



歴史に学び、文化を 発信享受するまち

施策

福井の 歴史と文化を 再生する

現状・課題

福井は、戦災、震災等幾多の災害により、歴史的遺産や町並みの多くが失われてしまいました。

また、利便性や機能性を重視したまちづくりや生活に対する価値観の変化によって、郷土の歴史や文化・伝統の一部が失われています。

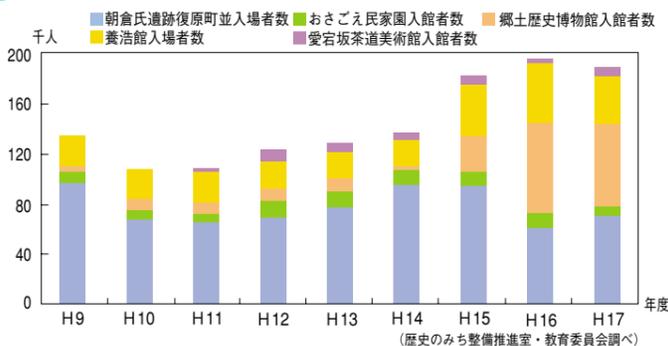
しかし、過去を学ぶことなしに、現在を知ることはなく、現在を知らずに未来を切り拓くことは出来ません。

“福井らしさ”を創造・発信していくためには、市民一人ひとりが歴史や文化を学び、その価値を認識し生活の中に活かす必要があります。

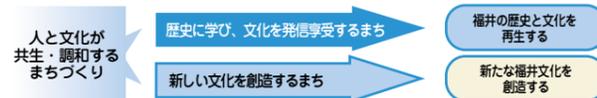
施策の方向性

- ・ 福井の歴史的・文化的資源の活用
- ・ 福井の歴史、文化にふれることのできるまちづくり

● 歴史施設等入場者数



●用語説明
 *1 歴史文化施設：一乗谷朝倉氏遺跡復原町並、おさごえ民家園。
 *2 歴史のみえるまちづくり協会：福井市が持つ歴史的遺産を活かしたまちづくりを行う財団。福井の伝統文化の保全や活用、「語り部」の登録、子ども歴史クラブの設置など市民に根ざした活動を行っている。
 *3 伝統的民家・歴史的建造物：伝統的民家とは木造の住宅その他の建築物であって、地域において受け継がれてきた福井に特有の形態及び意匠を有するものであり、歴史的建造物とは地域の歴史・生活史を表現し、地域の景観を形成しているもの。



課題を解決するために

基本柱1 福井の歴史文化を大切に

福井の歴史的、文化的資源を新たな視点で再評価し活用する。

中 柱	内 容
埋もれている文化財の学術調査	◎ 埋蔵文化財の発掘調査 ◎ 歴史博物館資料等の調査研究
文化財の保存、整備	◎ 文化財の保護 ◎ 文化財とふれあう機会の提供 ◎ 一乗谷朝倉氏遺跡の調査、整備
福井歴史の伝承	◎ 一乗谷朝倉氏遺跡の管理運営 ◎ 市史の編さん・刊行 ◎ 公文書等歴史的記録資料の収集保存 ◎ 伝統文化の継承と発信

指標 92	歴史文化施設*1の入場者数	基準値 (H17)	77,353人	目標水準 (H23)	101,000人
-------	---------------	-----------	---------	------------	----------

基本柱2 歴史を感じられるまちをつくる

歴史的資源を人々にわかりやすく紹介し、文化性豊かな個性的なまちづくりを進める。

中 柱	内 容
城下町福井の歴史回廊の整備	◎ 養浩館周辺、福井城址周辺、北の庄周辺と足羽山を結ぶ歴史を感じさせる散策回廊の整備
歴史に対する市民意識の高揚	◎ 「歴史のみえるまちづくり協会」*2と連携した歴史学習の場の提供、郷土の偉人顕彰事業の推進及び情報の発信事業の推進 ◎ 歴史的施設の親しみやすい運営 ◎ 伝統的民家・歴史的建造物*3の保存促進

指標 93	養浩館・歴史博物館・茶道美術館・桶囃子記念文学館入館者数	基準値 (H17)	124,602人	目標水準 (H23)	171,000人
指標 94	伝統的民家・歴史的建造物等指定数	基準値 (H17)	2件	目標水準 (H23)	14件